

報道発表



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

平成28年7月29日

平成28年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」の選定機関の決定について

科学技術人材育成費補助事業のうち、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」について、平成28年度の新規取組機関を選定しましたのでお知らせいたします。

1. 事業概要

本事業は、研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出につなげるため、各機関・地域の特色を踏まえた、女性研究者の活躍推進に向けた機関としての目標・行動計画を設定・公表することを要件とし、女性研究者のライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や女性研究者の研究力向上のための取組及び女性研究者の積極採用や上位職への積極登用に向けた取組を支援するものです。「特色型」では、大学や研究機関における単一の機関内での部局横断的な取組を、「牽引型」では、大学や研究機関が企業等と連携し、連携する各機関はもとより、その他の機関を含めた地域や分野における女性研究者の活躍促進を牽引する取組を支援します。

2. 公募期間及び申請件数

平成28年3月3日（木）から同年4月26日（火）までの間、公募を行った結果、特色型28件、牽引型11件の申請書の提出を受け付けました。

3. 選定方法

本事業の業務委託先である国立研究開発法人科学技術振興機構において、有識者等によって構成される「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ委員会」を設置し、審査を行い、同委員会の審査結果を踏まえ、文部科学省において、選定する機関を決定しました。

4. 選定件数

- | | |
|----------------------------|----|
| ○ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型） | 7件 |
| ○ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型） | 5件 |

（詳しくは別紙をご覧ください）

<担当> 文部科学省科学技術・学術政策局
人材政策課人材政策推進室

室長 唐沢 裕之

課長補佐 近藤 潤

基礎人材推進係長 高橋 耕輔

電話：03-5253-4111（内線 4021）

03-6734-4021（直通）

メールアドレス：kiban@mext.go.jp

平成28年度 科学技術人材育成費補助事業

○「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」選定機関一覧

	機関名	総括責任者名
1	東北大学	里見 進
2	茨城大学	三村 信男
3	東京藝術大学	澤 和樹
4	宮崎大学	池ノ上 克
5	東京女子医科大学	吉岡 俊正
6	立命館大学	吉田 美喜夫
7	理化学研究所	松本 紘

計 7件

○「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」選定機関一覧

	代表機関名	総括責任者名	共同実施機関名
1	岩手大学	岩渕 明	弘前大学 国立高等専門学校機構八戸工業高等専門学校 国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校 農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター 株式会社ミクニ
2	筑波大学	永田 恭介	産業技術総合研究所 日本アイ・ビー・エム株式会社
3	東京農工大学	松永 是	東京外国語大学 国際農林水産業研究センター 一般社団法人首都圏産業活性化協会
4	電気通信大学	福田 喬	津田塾大学 日本電信電話株式会社先端技術総合研究所
5	大阪大学	西尾 章治郎	医薬基盤・健康・栄養研究所 ダイキン工業株式会社

計 5件

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

平成28年度予算額 : 1,088百万円
 (平成27年度予算額 : 1,088百万円)

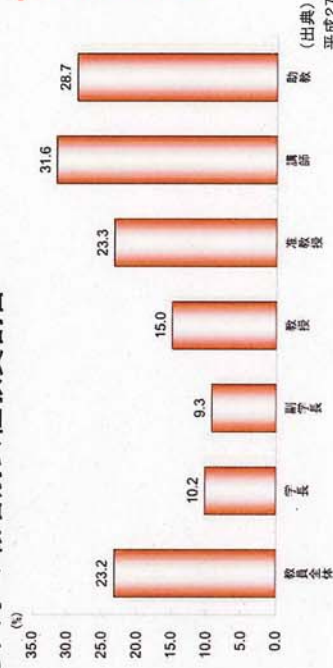
現状認識

- 我が国の女性研究者数は増加傾向にあるが、その割合は、諸外国と比較して、なお低い水準。
- 研究者が研究活動を継続する上で、出産・育児・介護等との両立が困難。
- 研究者の業績評価に当たって、育児・介護に対する配慮が不足しているとの指摘。
- 結果として、女性研究者の上位職への登用が進んでいない。

●主要先進国における女性研究者の割合



●大学の職別女性教員割合



事業概要

研究と出産・育児・介護等との両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するなど、研究環境のダイバーシティ実現に関する目標・計画を掲げ、優れた取組を実施する大学等を選定し、重点支援。

支援対象等

- 対象機関：大学、国立研究開発法人等
- 支援取組：単一の機関内での部局横断的な取組（特色型）や複数の機関が連携し、地域や分野における女性研究者の活躍を牽引する取組（牽引型）を支援
- 補助金額：3千万円上限/年（特色型）、6千万円上限/年（牽引型）
- 実施期間：6年間（うち補助期間3年間）

期待される効果

- 女性研究者が途切れることなくキャリアアップを図ることができる環境の整備。女性リーダーの活躍促進。
- 様々な視点を持った研究者が共に研究活動を行う環境が構築され、新たな研究開発成果が生まれることが期待

●科学技術イノベーション総合戦略2015 (平成27年6月閣議決定)

第2部 科学技術イノベーションの創出に向けた二つの政策分野 第1章 イノベーションの連鎖を生み出す環境の整備

3. 重点的取組 (1) 若手・女性の挑戦機会の拡大
- ・科学技術イノベーションへの参入を目指す女性のロールモデルとなるような女性リーダーの登用を促進するとともに、ワークライフバランスの実現のための支援及び環境整備を行い、女性が継続的に知的プロフェッショナルとして活躍できる環境整備に取り組む。

大学・研究機関における体系的・組織的取組

【目標・計画の設定】

- ・ 研究環境のダイバーシティ実現のための目標(数値目標)、計画等の設定
- ・ 指導的立場における女性割合の数値目標の設定

【研究の継続・復帰】

- ・ ライフイベント中の研究教育補助者やメンターの配置
- ・ 病児保育を含め学内保育所の設備整備・運営
- ・ ライフイベント等により研究継続を断念した者等の研究活動の再開・促進の支援
- ・ 研究リーダーにふさわしい研究能力やマネジメント能力等の育成

【支援終了後の継続性】

- ・ マッチングファンド方式などにより、支援終了後の自主的な継続性を担保

支援メニューの具体例